

NEXCO東日本 関東支社管内における  
令和3年1月～4月の交通死亡事故発生状況

◆3月は前年より急増◆

NEXCO東日本関東支社調べ

令和3年1月～4月  
NEXCO東日本 関東支社管内の交通死亡事故  
≪10件(+7件)、10名(+7名)≫ ( )は前年同期比

◇死亡事故の主な傾向 [データ重複あり]

- ・若年世代(20～30歳代)の事故 6件、6名 (前年同期:1件、1名)
- ・深夜～早朝の事故 5件、5名 (前年同期:1件、1名)
- ・休日(土曜・日曜)の事故 5件、5名 (前年同期:0件)
- ・自動二輪の事故 4件、4名 (前年同期:0件)
- ・車外放出(シートベルト未装着)の事故 2件、2名 (前年同期:0件)

◆3月の発生状況 ≪6件(+5件)、6名(+5名)≫ ( )は前年同期比  
[データ重複あり]

- ・深夜～早朝の事故 5件、5名
- ・若年世代(20～30歳代)の事故 4件、4名
- ・車外放出(シートベルト未装着)の事故 2件、2名

◇最近の交通死亡事故の特徴◇

①深夜～早朝の時間帯での事故

- ・長距離ドライブによる疲労・眠気のため、居眠り運転に陥る可能性があります。
- ・2時間の運転を目安にSA・PAで休憩するなど、ゆとりを持ったドライブ計画をお願いします。

②自動二輪による事故

- ・二輪車は自動車と違い天候の影響を受けやすく、事故の際に身体を守るものがないため、重大事故につながりやすくなります。
- ・スピードは控えめに、路肩や車の間をすり抜けての無理な追越走行は大変危険ですのでおやめください。

③車外放出による事故

- ・高速走行で衝突した場合、シートベルトをしていないと身体が車内で振り回され、開いたドア、ガラスの割れた窓などから車外に投げ出されることがあります。
- ・シートベルトは命を守る装置です。全席シートベルトの着用をお願いします。